

九州産業大学大学院

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL



令和2年度 研究成果発表会

ナレーションが短編映画の 世界観に与える影響に関する考察

narration may play a role in the world view of the film

博士前期課程

芸術研究科 造形表現専攻 写真領域

陶 炫程

主査 星野浩司
副査 大日方欣一
副査 佐藤慈

研究背景

一般的に映像作家は、様々な映像の手法を使って視聴者に映像の世界観を提示したり暗示したりする。映像の世界観の構築とは、ストーリーの設定を視聴者に受け入れさせ、それを具現化することである。そのため、映像の始まりや転換点にナレーションを挿入し、映像の世界観を視聴者に説明する方法が、一部の映像作家によく使われる。しかし、一部の映像作家や映像研究者は、ナレーションを使用する表現手法はあまりにも説明的であり、映像の全体的なリズムを損なうと考えている。映像を見る視聴者の体験に影響を与え、さらに用い方によっては、視聴者を軽視した扱いになりかねない。

このように、映像にナレーションを使用することについては、映像作家において賛否意見が分かれている。画面で表現できるものはなるべくナレーションを使うべきではないという意見がある、もう一方では、ナレーションを巧みに使用することは、世界観を説明し、また映像の質を高めることができると考えられる。

類似研究において、ナレーションが映像の世界観に与える影響について具体的かつ弁証的に研究した例は今のところない。

研究方法

- 1) 論文、文献を通じて、ナレーションが短編映画の世界観に対する影響に関する先行研究の調査。
- 2) 既存作品を用いたナレーションの必要性に関する予備調査実験
- 3) オリジナル作品に基づく調査実験

研究仮説

本研究に際し、以下の仮説を想定して進める

- 1) ナレーションでは、短編映画の世界観を提示し、観客が映画を理解するのに役立つと考える
- 2) 作品の演出上、ナレーションの使い方次第では、視聴者が促える作品の評価に大きく関係している。

実験手法

実験は、実験素材として既存の映像作品（2作品）をナレーション有り・ナレーション無しという2種に加工した映像素材を用いて2つのグループに分けて視聴実験を行う。

- 1) 「The Piano Tuner」 ナレーション有り・ナレーション無し
- 2) 「Project shell」 ナレーション有り・ナレーション無し

本実験の視聴実験としては、オンライン動画サイトを用いて遠隔での実験を実施する。視聴後にオンラインによる評価アンケートを用いて調査結果を比較検証し、実験仮説を行う。

ナレーションの必要性に関する予備調査実験

実験素材1



出典：監督：Olivier Treiner 制作：2425 Films 製作年：2010

「The Piano Tuner」

「The Piano Tuner」は主人公が15年間ピアノを習ってきた天才ピアニスト。人生を決める重要なコンテストに失敗した後、仕事のためにコンタクトレンズをつけ、盲人を仮装した。盲人ピアノ調律師となった。ある日、彼はある家を訪れて働いていたが、ある事件に遭って殺される。

実験素材2



「Project Shell」

「Project Shell」は未来世界で世界中において大規模な戦争が起こっており、警察がクローン人間を狩るストーリーである。

出典：監督：Fátima de los Santos 製作年：2012 (Spain)

調査結果

短編映像の世界観を視聴者に伝える際に、ナレーションは表現手法として役立つが、逆に、ナレーションを省いた場合、監督の伝えたい世界観がうまく伝わらない可能性があると考える。

作品の考え

本作品は、ナレーションの必要性に関する予備調査実験の研究結果に基づき、オリジナルの作品として制作する。現在のコロナウイルスの感染拡大を背景に、留学生の心理状態と日々の生活を表現する。

ここでオリジナル作品のダイジェストをご覧ください。

作品に基づく調査実験

ナレーションの使い方が作品の評価にどのような影響を与えるのかを分析するため、

グループ1 「ナレーション多い・直接的な」

グループ2 「ナレーション多い・間接的な」

グループ3 「ナレーション少ない・直接的な」

グループ4 「ナレーション少ない・間接的な」

という四つのグループを設定する。

調査結果

- 1) 全体的に見ると、グループ2「ナレーション多い・間接的な」の評価が最も高く、グループ3「ナレーション少ない・直接的な」の評価が最も低い。
- 2) 視聴者は、間接的なナレーションより直接的なナレーションの方が受け入れられる。
- 3) ナレーションの表現は視聴対象によって評価の差異があると考えられる。

まとめ

本研究では、基礎実験を行うことでナレーションが短編映画の世界観に影響を与えることを確認し、オリジナル作品を用いた視聴実験を通じて、ナレーションの用いた方による評価の違いを明らかにした。特に、作品の評価において、被験者の視聴経験のレベルが大きく関係するという知見を得たと考える。

指導教員コメント

本研究はナレーションが映像作品の世界観を鑑賞者が理解するのに如何に機能するのかを実験分析した研究である。オリジナル作品を制作し、実証実験を行っており、これまでにない貴重な知見が得られている。

星野浩司